

CentreNET[®]
Swim Manager[®] Ver.1.2
リリースノート

ご注意

本書の中に含まれる情報は、弊社（アライドテレシス株式会社）が保有しています。弊社の同意なく本書の全体もしくは一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体もしくは一部を修正または改訂することがあります。あらかじめご了承ください。

弊社は、改良のため予告なく製品の仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

本製品の内容またはその仕様に関連して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

Copyright © 2000 - 2002 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreNET、CentreCOM、Swim Manager、SwimView は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国ならびにその他の国における登録商標です。

Extreme Networks は、米国 Extreme Networks, Inc. の商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名等は、各社の商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2000年6月	初版（Swim Manager Ver.1.0 pl 0）
2000年10月	第2版（Swim Manager Ver.1.0 pl 1）
2001年3月	第3版（Swim Manager Ver.1.1 pl 0）
2002年9月	第4版（Swim Manager Ver.1.2 pl 0）

目次

ご注意 2
商標について 2
マニュアルバージョン 2

1 はじめに 5

2 製品構成 5

3 同梱物一覧 5

4 動作環境 6

VLAN 表示可能なネットワーク機器 6

5 セットアップの流れ 7

6 Swim Manager のインストール 9

6.1 インストールの前に 9

6.1.1 必要動作環境の再確認 9

6.1.2 サービスパックのインストール (Windows NT のみ) 9

6.1.3 IE4.01SP2 以上のインストール (Windows NT/98 のみ) 10

6.2 アップグレードインストール 10

6.2.1 アップグレード時の注意事項 10

6.3 新規インストール 12

6.3.1 インストーラーの起動とコンポーネントの自動インストール 12

6.3.2 WMI のインストール 13

6.3.3 Swim Manager のインストール 15

7 サーバ環境の設定 17

7.1 Swim Manager 用ユーザーの作成 17

7.2 Web サーバの設定 18

7.2.1 Web サーバのインストールと Web アクセスの確認 18

7.2.2 SwimManager ディレクトリの設定 19

IIS 3.0 の場合 19

PWS 4.0、IIS 4.0、IIS 5.x の場合 20

7.3 共有フォルダの設定 22

7.3.1 マップフォルダの共有設定 22

7.4 WMI の設定 (Windows 2000、XP のみ)23

8 ビューワ環境の設定 25

8.1 WMI コンポーネントのインストール 25

8.2 Internet Explorer の設定 26

IE 4.x の場合 26

IE 5.x、IE 6 の場合 27

9 起動方法 28

9.1 サーバの起動 28

9.2 ビューワの起動 28

9.2.1 ローカルでの起動 28

9.2.2 リモートでの起動 29

10 SwimView のインストール 30

10.1 SwimView のライセンスについて 30

10.2 インストール方法 30

SwimView のインストール 30

SwimView EX のインストール 31

10.3 注意事項 31

11 アンインストール 31

12 再インストール 32

1 はじめに

このたびは CentreNET Swim Manager（以下、Swim Manager と表記します）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この冊子では、Swim Manager をご使用いただくための動作環境、インストール方法、環境設定、起動方法などについて説明しています。インストールの前に必ずご一読ください。また、**CD-ROM 内の Readme ファイルも合わせてご一読**くださいますようお願い申し上げます。

2 製品構成

Swim Manager の製品パッケージには、以下の 2 種類があります。

CentreNET Swim Manager ST

CentreNET Swim Manager EX

Swim Manager ST と Swim Manager EX はバンドルされている SwimView が異なるだけ（Note 参照）であり、Swim Manager 本体は同じです。したがって、本書および製品付属のオンラインドキュメント等では、**原則として Swim Manager ST と Swim Manager EX を区別しておりません**。あらかじめご了承ください。

Note

Swim Manager STにはCentreNET SwimViewが、Swim Manager EXにはCentreNET SwimView EX が付属しています。SwimView と SwimView EX は、アライドテレシス製のネットワーク機器を GUI から管理するためのソフトウェアで、両者の違いは、SwimView EX が Extreme Networks 社製品をサポートしている点のみです。

3 同梱物一覧

本パッケージには以下のものが含まれています。

Swim Manager ST または Swim Manager EX CD-ROM

リリースノート（本書）

シリアル番号 / 認証番号シール入り封筒

4 動作環境

Swim Manager の動作環境を以下に示します。Swim Manager は、サーバ機能とビューワ機能に大きくわけられます。ビューワは Web ブラウザの Internet Explorer (以下 IE) 上で動作します。

ハードウェア	DOS/V 互換機 (OADG 仕様) および PC98-NX シリーズ
メモリ (RAM) 容量	128MB 以上 (SwimView と同時使用の場合は 160MB 以上を推奨)
CPU	Pentium 166MHz 以上 (SwimView と同時使用の場合は 300MHz 以上を推奨)
対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 98/98SE (IE4.01SP2 以上)[†] • Windows NT 4.0 (SP5 以上、IE4.01SP2 以上) • Windows 2000 (SP1 以上) • Windows XP Professional (Home Edition ではご使用になれません) <p>[Note] サーバとビューワを異なる PC 上で使用する場合、サーバ側 OS として使用できるのは Windows NT と Windows 2000、XP だけとなります。サーバとビューワを同一 PC 上で使用する場合は、Windows 98、Windows NT、Windows 2000、XP のいずれも使用できます。</p> <p>[Note] サーバとビューワを異なる PC 上で使用する場合、OS の組み合わせに以下の制限がありますのでご了承ください。サーバとビューワを同一 PC 上で使用する場合、および Web Option 使用時には、これらの制限はありません。(1) Windows XP をサーバにする場合、クライアントとして Windows NT 4.0 と 98/98SE は使用できません(2000 と XP のみ使用可能)、(2) Windows NT 4.0 をサーバにする場合、クライアントとして Windows XP は使用できません (Windows NT、98/98SE、2000 は使用可能)。</p>
ディスプレイ	640 x 480 ドット以上。256 色以上。
ハードディスク容量	インストール時: 110MB 以上、初期動作時: 80MB 以上 ^{††} 注) リモート接続時のクライアントには、30MB 以上必要です。
Web サーバ	サーバとビューワを別々の PC で動作させる場合には、サーバ PC に以下の Web サーバが必要となります。 <ul style="list-style-type: none"> • Personal Web Server (PWS) V4.0 以上 • Internet Information Server (IIS) V3.0 以上 • Internet Information Services (IIS) 5.x (Windows 2000、XP 付属)
Web ブラウザ	ビューワには、Microsoft Internet Explorer 4.01SP2 以上が必要です。Netscape Communicator/Navigator には対応しておりません。

[†] Windows 98SE、Windows 2000、XP には、IE4.01SP2 以上が最初から含まれています。

^{††} ただし、ログの保存やタスクの作成を行うには別途 HDD 容量が必要です。

VLAN 表示可能なネットワーク機器

Swim Manager の VLAN 表示機能は、以下の機器に対応しています。

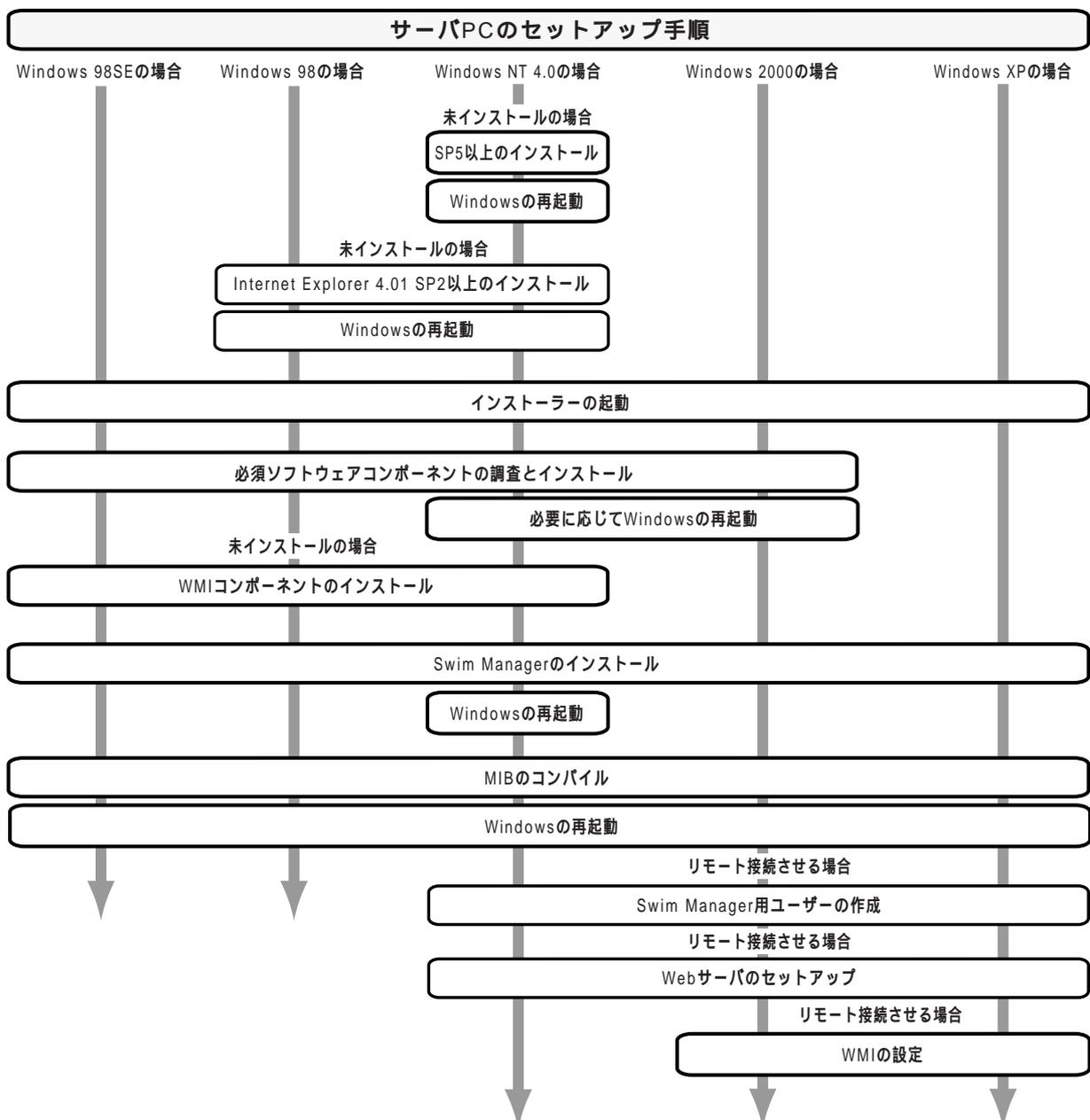
弊社 CentreCOM 8224XL、8216FXL/SC、8216XL、9006SX/SC、9006T、9108、8518、8525、8550。Extreme Networks 社 Summit/BlackDiamond シリーズ

5 セットアップの流れ

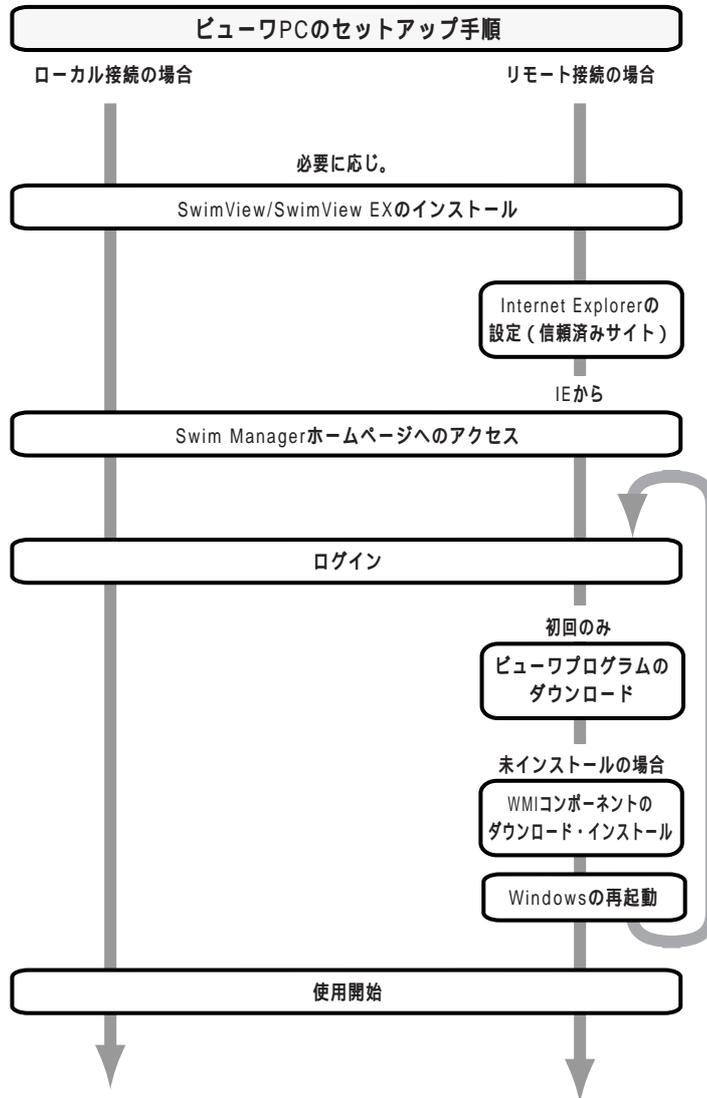
インストールの準備から、各種コンポーネントのインストール、環境設定、Swim Manager の使用開始までの大まかな流れは次のようになります。

なお、旧バージョン（Ver.1.0 または Ver.1.1）からアップグレードする場合も手順は変わりません。旧バージョンをアンインストールせず、新規インストールと同じ手順でセットアップを行ってください。ただし、**若干の注意事項がありますので、「6.2 アップグレードインストール」(10 ページ)をよくお読みの上、セットアップを行ってください。**

サーバ PC のセットアップ手順



ビューワ PC のセットアップ手順



6 Swim Manager のインストール

ここでは、Swim Manager をインストールする方法について説明します。

Topics:

インストールの前に
アップグレードインストール
新規インストール

6.1 インストールの前に

Swim Manager のインストールを始める前に、以下の各項目について確認してください。

6.1.1 必要動作環境の再確認

インストール先のコンピュータが、必要動作環境の要件を満たしているかどうか、「4 動作環境」でもう一度お確かめください。

Note

本バージョンにおいては、Windows 98 では IE4.01SP2 以上が、Windows NT では IE4.01SP2 以上と Windows NT SP5 以上が必須です。ご使用のシステムがこれらの条件を満たしていない場合は、OS 環境をアップグレードする必要があります（次項以降を参照）。旧バージョンからアップグレードする場合は特にご注意ください。

6.1.2 サービスパックのインストール（Windows NT のみ）

サーバ PC に Windows NT を使用する場合は、サービスパック 5（SP5）以上をインストールしておく必要があります。SP5 以上がインストールされていないと、Swim Manager のインストーラ起動時にその旨が表示され、インストールが中止されます。サービスパックのインストール方法については、サービスパック付属のドキュメントをご参照ください。

Windows NT 4.0 サービスパックのダウンロードについては、下記をご参照ください。

Windows NT 4.0 Service Pack 5

<http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/nt4sp5/>

Windows NT 4.0 Service Pack 6a

<http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/NT4SP6/>

6.1.3 IE4.01SP2 以上のインストール (Windows NT/98 のみ)

Swim Manager をインストールするには、Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2 (IE4.01SP2) 以上が必須となります。IE4.01SP2 以上がインストールされていない場合は、Swim Manager のインストーラ起動時にその旨が表示され、インストールが中止されます。IE4.01SP2 以上のインストールについては、IE 付属のドキュメントをご参照ください。

Note

Windows 98SE および Windows 2000、XP の場合は、標準で IE4.01SP2 以上がインストールされています。

IE4.01SP2 以上のダウンロードについては、下記をご参照ください。

Internet Explorer 4.01 SP2

<http://www.microsoft.com/japan/ie/401sp2/>

Internet Explorer 5.5 SP2

<http://www.microsoft.com/downloads/release.asp?ReleaseID=32082>

Internet Explorer 6.0

<http://www.microsoft.com/japan/ie/downloads/ie6/>

6.2 アップグレードインストール

旧バージョン (Swim Manager Ver.1.0 または Ver.1.1) からアップグレードする場合、旧バージョンをアンインストールせずに、そのまま新規インストールの手順にしたがってセットアップを進めてください。

Note

本バージョンにおいては、Windows 98 では IE4.01SP2 以上が、Windows NT では IE4.01SP2 以上と Windows NT SP5 以上が必須です。ご使用のシステムがこれらの条件を満たしていない場合は、OS 環境をアップグレードする必要があります (次項以降を参照)。旧バージョンからアップグレードする場合は特にご注意ください。

6.2.1 アップグレード時の注意事項

Swim Manager Ver.1.2pl0 では、最新の MIB/ アイコンファイルを提供しています。旧バージョン (Swim Manager Ver.1.0 または Ver.1.1) からアップグレードする場合、以前から使用していた MIB/ アイコンファイルが最新のものに置き換えられます。

以前から使用していた MIB/ アイコンファイルを Swim Manager Ver.1.2pl0 で引き続き使用したい場合には、以下の手順にしたがい MIB/ アイコンファイルのバックアップをとってから、アップグレードインストールを実施してください。また、インストール完了後に、バックアップしたデータをリストア（復元）してください。

以下、バックアップとリストアの手順を示します。

1. CD-ROM ドライブに Swim Manager の CD をセットします。
2. セットアッププログラムが起動します。ここでは、最初にバックアップをとるため、いったんセットアップを終了させます。「いいえ」をクリックしてください。

Note

セットアッププログラムが自動的に起動しない場合は、そのまま次の手順に進んでください。

3. CD-ROM 内の「D:\SwimManager\bin\SMBackup.exe」を実行してください（CD-ROM ドライブが「D:」の場合）。Swim Manager バックアップユーティリティが起動します。

Note

Swim Manager がインストールされていない場合は、その旨を告げるダイアログが表示され、「OK」を押すとプログラムが終了します。

4. 「ファイル名」にバックアップ先ファイル名を指定し、「実行」ボタンをクリックしてください。Swim Manager のデータファイルが、指定したファイル名の .cab ファイルとしてバックアップされます。「コメント」欄にメモを残すこともできます。
5. 「閉じる」ボタンをクリックして Swim Manager バックアップユーティリティを終了します。
6. Swim Manager のセットアッププログラムを実行し、インストールを行います。
7. インストール完了後、スタートメニューから「プログラム」「CentreNET Swim Manager」「Swim Manager ツール」「リストア」の順に選択し、Swim Manager リストアユーティリティを起動します。
8. 「ファイル名」に手順 4 で作成した .cab ファイルを指定し「OK」をクリックしてください。データファイルのリストア（復元）が行われます。このとき「MIB 情報をリストアする」「アイコン情報をリストアする」のそれぞれがチェックされていることを確認してください。
9. 以上で Swim Manager データの復元は完了です。

6.3 新規インストール

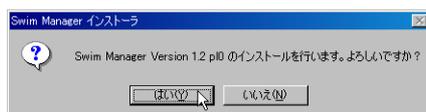
Swim Manager の新規インストールは次の手順で行います。

Note

Swim Manager のインストールは、サーバとして使用する PC にのみ必要な作業です。ビューワ PC とサーバ PC が異なる場合は、ビューワ PC にインストールする必要はありません。ビューワプログラムは、初めて IE からサーバに接続した時にダウンロードされ、ビューワ PC のハードディスクに格納されます。2 回目以降は、ビューワ PC 上に格納されているビューワプログラムが使用されますので、ダウンロードは行われません。

6.3.1 インストーラーの起動とコンポーネントの自動インストール

1. Windows を起動します。Windows NT、Windows 2000、XP の場合は、Administrators グループのユーザーでログオンしてください。
2. CD-ROM ドライブに Swim Manager の CD をセットします。
3. セットアップが起動します。「はい」をクリックしてください。



Note

セットアッププログラムが自動的に起動しない場合は、CD-ROM 内の「D:\Swim Manager\setup.exe」を実行してください（CD-ROM ドライブが「D:」の場合）。

4. Swim Manager 本体のインストール前に、必要なソフトウェアコンポーネントのチェックが行われます。不足分については、確認のダイアログが表示された後、自動的にインストールが行われます。各ダイアログに「はい」と答えてインストールしてください。

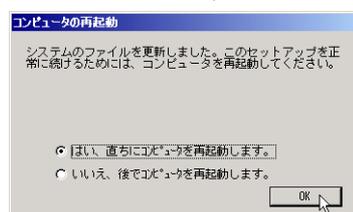
Note

Windows XP の場合、必要なコンポーネントが標準でインストールされているため、以下の手順 5、6 は行われません。

5. (Windows 2000 のみ) コンポーネントのインストール終了後、次のダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。



6. (Windows 2000 のみ) 「はい」をクリックして、コンピュータを再起動してください。



6.3.2 WMI のインストール

Swim Manager が使用するソフトウェアコンポーネント WMI のインストールが行われます。

Note

Windows 2000、XP の場合は、標準でインストールされているため、本インストールは行われません。

1. WMI がインストールされていない場合、次のダイアログが表示されますので、「はい」をクリックしてください。



2. バージョンの古い WMI がインストールされている場合、次のダイアログが表示されますので、「Yes」をクリックしてください。



3. 「Next」をクリックしてください。



4. License Agreement をお読みの上、「I accept this agreement」を選択し「Next」をクリックしてください。



5. WindowsNT の場合、次のダイアログが表示されます。そのまま、「Next」をクリックしてください。



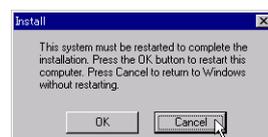
6. 「Next」をクリックしてください。ファイルがコピーされます。



7. 「Finish」をクリックしてください。

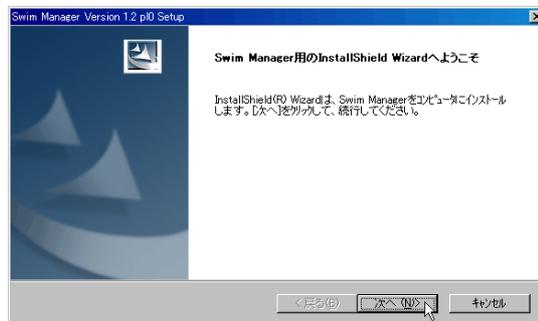


8. 「Cancel」をクリックしてください。

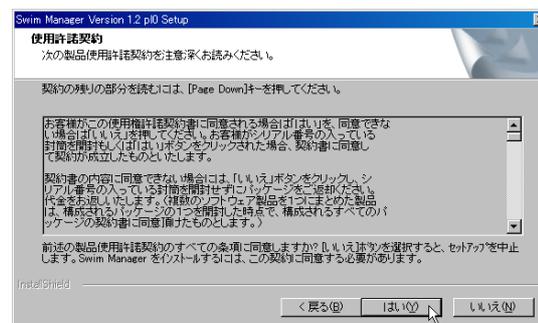


6.3.3 Swim Manager のインストール

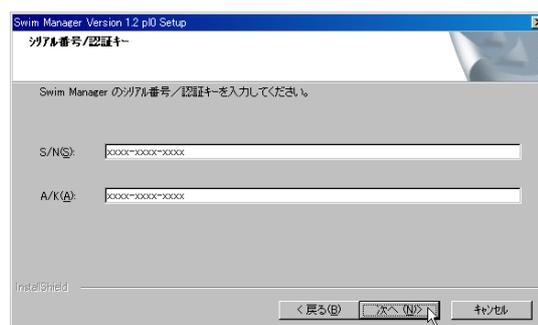
1. 各コンポーネントのインストール後、Swim Manager 本体のインストールが開始されます。「次へ」をクリックしてください。



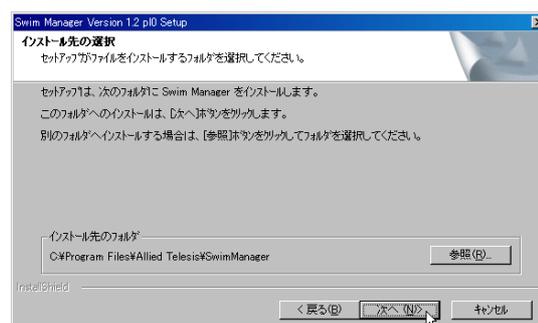
2. 使用許諾契約の各条項をよくお読みになり、同意されるなら「はい」をクリックしてください。



3. Swim Manager の「シリアル番号」(S/N)と「認証キー」(A/K)を入力し、「次へ」をクリックします。



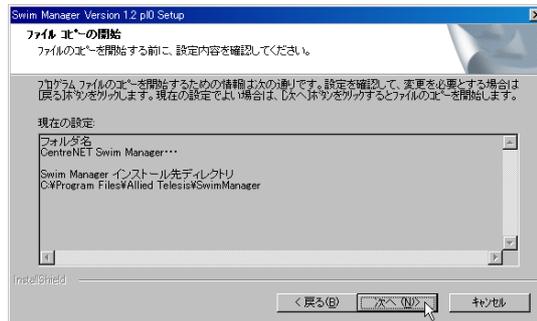
4. Swim Manager のインストール先ディレクトリを指定し、「次へ」をクリックします。



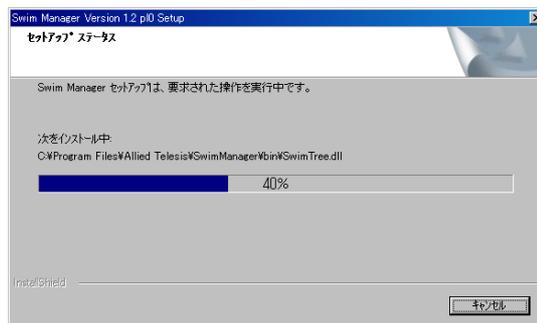
5. プログラムフォルダを選択し、「次へ」をクリックします。



6. 「次へ」をクリックします。



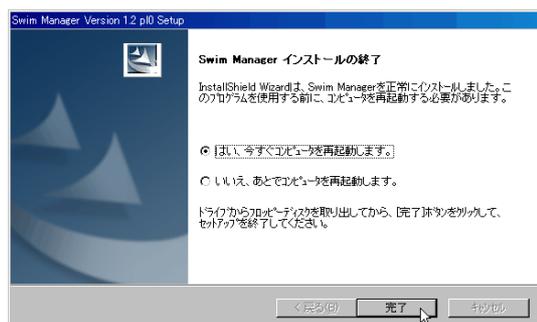
7. ファイルのコピーが行われます。



8. (NT 4.0 のみ) 指示にしたがいコンピューターを再起動してください。
9. (NT 4.0 では再起動後) MIB ファイルのコンパイルが行われます。



10. 次のダイアログが表示されたらインストールは終了です。「はい」を選択し、「OK」ボタンをクリックして Windows を再起動してください。



7 サーバ環境の設定

Swim Manager のサーバとビューワを異なる PC でご使用になる場合は、サーバ PC 上で以下の作業を行っておく必要があります。

- Swim Manager 用ユーザーの作成
- Web サーバの設定
- 共有フォルダの設定
- WMI の設定 (Windows 2000、XP のみ)

Swim Manager を使用する前に、以下の手順にしたがって、サーバ環境の設定を行ってください。

Note

サーバとビューワを同じ PC で実行する場合は、サーバ側に特別な設定は必要ありません。「8 ビューワ環境の設定」にお進みください。

Note

サーバとビューワを異なる PC で実行する場合、サーバ側 OS として Windows NT か Windows 2000、XP を使用する必要があります。

7.1 Swim Manager 用ユーザーの作成

サーバとビューワを別の PC で実行する場合、サーバ PC の OS (Windows NT/2000/XP) 上に Swim Manager 用のユーザーアカウントを作成する必要があります。

サーバ PC に Windows NT/2000/XP の管理者権限でログオンし、「ユーザーマネージャ」等で **Administrators グループ所属のユーザー**を作成してください。リモート PC から Swim Manager サーバにログインするときは、このユーザー名を使用します。

Note

Administrators グループ所属でも、ユーザー「Administrator」は使用できませんのでご注意ください。

Note

登録するユーザー名は NT ドメインのものと重複しないようにしてください。

7.2 Web サーバの設定

Swim Manager をリモートから使用する場合は、サーバ PC (Windows NT/2000/XP) に Web サーバがインストールされており、正しく設定されている必要があります。

Web サーバのインストールと Web アクセスの確認
SwimManager ディレクトリの設定

Note

同一 PC 上でのみ Swim Manager をご使用になる場合 (サーバとビューワを同じ PC 上で実行する場合は、Web サーバ製品をインストールする必要はありません。

7.2.1 Web サーバのインストールと Web アクセスの確認

使用できる Web サーバは次のとおりです。

Internet Information Server(IIS) 3.0
Internet Information Server(IIS) 4.0
Internet Information Services(IIS) 5.x
Personal Web Server(PWS) 4.0 以上

各 Web サーバのインストールについては、各製品付属のドキュメントをご参照ください。

Web サーバをインストールしたら、Web サーバを起動し、次に別の PC 上で Internet Explorer を立ち上げ、サーバ上の Web ページを参照できることを確認してください。Web ページへのアクセスに失敗する場合は、ネットワーク接続、Web サーバの設定等を確認して問題を解決してから、次の作業に進んでください。

Web サーバが正しく動作していない状態では、リモートから Swim Manager を使用することができません。

7.2.2 SwimManager ディレクトリの設定

サーバとビューワを異なる PC 上でご使用になる場合は、Swim Manager のインストール先ディレクトリを、Web サーバの仮想ディレクトリに設定する必要があります。以下、Web サーバごとに手順を説明します。

IIS 3.0 の場合

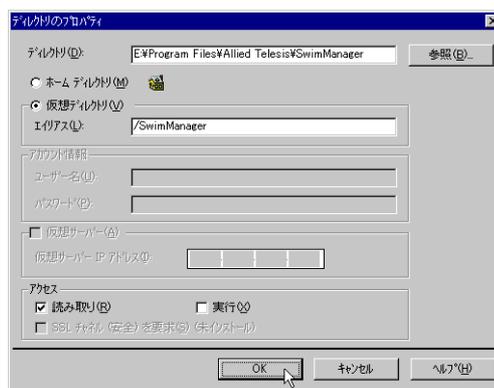
1. 「インターネットサービスマネージャ」を起動します。「WWW」をダブルクリックするか右クリックメニューから「プロパティ」を選択して、「WWW サービスのプロパティ」を表示させます。



2. 「ディレクトリ」タブの「追加」ボタンをクリックします。



3. 「ディレクトリ」に Swim Manager のインストール先ディレクトリ (例: E:\Program Files\Allied Telesis\SwimManager) を指定し、「仮想ディレクトリ」の「エイリアス」には「/SwimManager」と入力してください。「アクセス」の「読み取り」がチェックされていることを確認して、「OK」をクリックします。



4. 次の図のように SwimManager ディレクトリが追加されていれば、設定は完了です。



Note

前図のように、「ディレクトリ」タブの「デフォルトドキュメントを使用可能にする」をチェックし、「デフォルトドキュメント」を「Default.htm (デフォルト)」にしておくと、クライアントのブラウザに「http://サーバ名 /SwimManager」と入力するだけで、Swim Manager のスタートページにアクセスできるようになります。

PWS 4.0、IIS 4.0、IIS 5.x の場合

1. 「インターネットサービスマネージャ」を起動し、「Internet Information Server」のサーバマシンの「規定の Web サイト」を選択し、「動作」メニューか右クリックメニューから「新規作成」「仮想ディレクトリ」を選択してください。



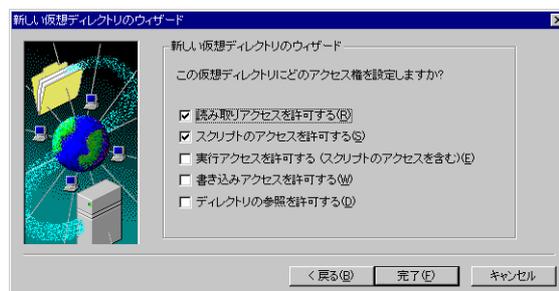
2. 「この仮想ディレクトリにアクセスするために使用されるエイリアス」に「SwimManager」と入力し、「次へ」をクリックします。



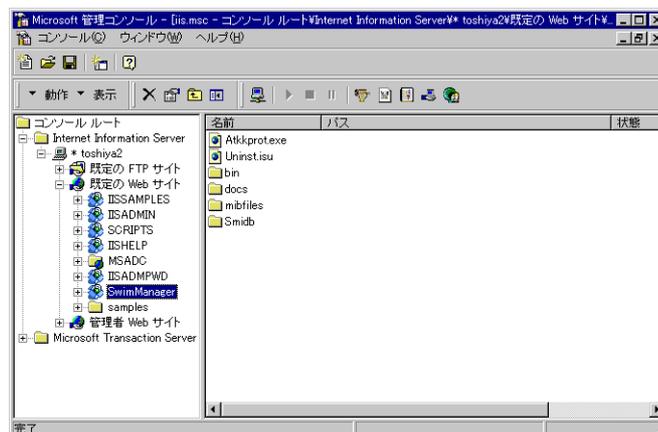
3. 「発行する内容を含むディレクトリの物理パスを入力してください」に Swim Manager のインストール先ディレクトリ（例：E:\Program Files\Allied Telesis\SwimManager）を入力し、「次へ」をクリックします。



4. 「読み取りアクセスを許可する」のチェックボックスにチェックがついていることを確認し、「完了」をクリックします。



5. 「規定の Web サイト」の下に「SwimManager」が追加されていることを確認してください。以上で設定は完了です。



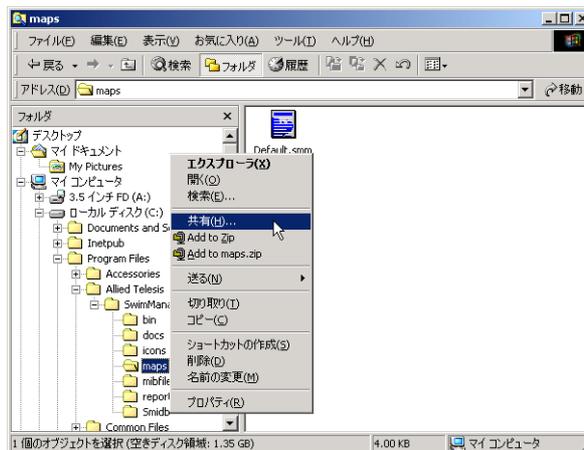
7.3 共有フォルダの設定

必須ではありませんが、Swim Manager をリモートから使用する場合は、以下の設定を行っておくと便利です（以下の画面例は、Windows 2000 のものです）。

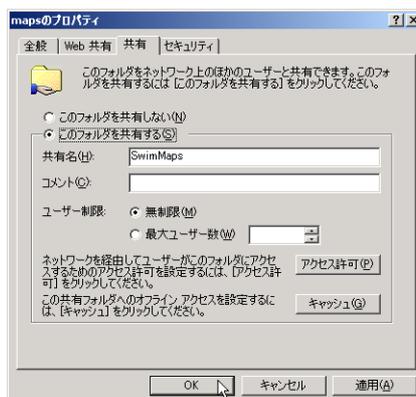
7.3.1 マップフォルダの共有設定

Swim Manager のマップ機能（SwimMap）は、マップ情報をサーバのマップフォルダ（Swim Manager のインストール先ディレクトリ下の maps ディレクトリ）に保存します。Swim Manager をリモートから使用する場合は、マップフォルダを共有するよう設定しておく、リモートからマップを保存するときに、保存ダイアログのデフォルト保存先がサーバのマップフォルダとなり便利です。

1. エクスプローラなどで、Swim Manager のインストール先ディレクトリの下にある maps ディレクトリ（例：C:\Program Files\Allied Telesis\SwimManager\maps）を右クリックし、「共有」を選択します。



2. 「このフォルダを共有する」を選択し、「共有名」に「SwimMaps」を指定して「OK」ボタンをクリックします。



3. これで共有設定は完了です。共有されたフォルダには、手のマークが付きまます。

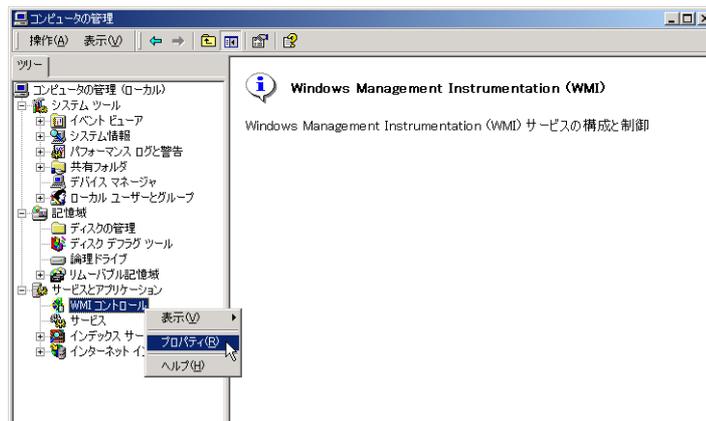
7.4 WMI の設定 (Windows 2000、XP のみ)

Windows 2000、XP 上の Swim Manager サーバにリモートからアクセスしたい場合は、サーバ PC (Windows 2000、XP) 上であらかじめ以下の設定を行っておく必要があります。

1. 「コントロールパネル」 「管理ツール」 「コンピュータの管理」の順に進みます。



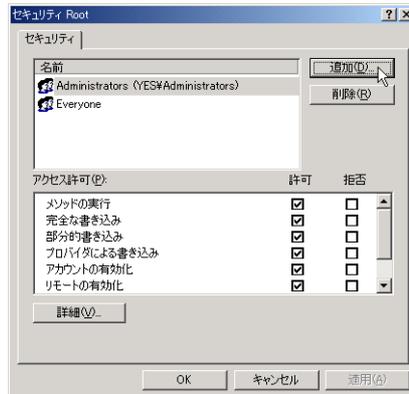
2. 「サービスとアプリケーション」の下の「WMI コントロール」を選択し、「操作」メニューまたは右クリックメニューの「プロパティ」を選択します。



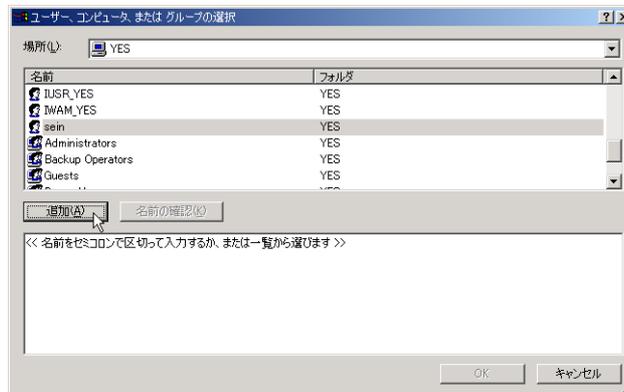
3. 「WMI コントロールのプロパティ」ダイアログが表示されるので、「セキュリティ」タブを選択し、「セキュリティ」ボタンをクリックします。



4. 「追加」ボタンをクリックします。



5. リモートログインを許可するユーザーを選択して「追加」ボタンを押します。追加が完了したら、「OK」ボタンをクリックします。



6. あとはすべて「OK」ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。以上で設定は完了です。



8 ビューワ環境の設定

Swim Manager のサーバとビューワを異なる PC でご使用になる場合は、ビューワ PC 上で以下の作業を行っておく必要があります。Swim Manager を使用する前に、以下の手順にしたがって、ビューワ環境の設定を行ってください。

WMI コンポーネントのインストール
Internet Explorer の設定

Note

サーバとビューワを同じ PC で実行する場合は、ビューワ側に特別な設定は必要ありません。「9 起動方法」にお進みください。

8.1 WMI コンポーネントのインストール

リモート PC から Swim Manager を使用するには、リモート PC (ビューワ) 側にマイクロソフト社のネットワーク管理プラットフォーム「WMI コンポーネント」がインストールされている必要があります。WMI がインストールされていない状態で Swim Manager サーバにログインしようとすると、次のようなダイアログが表示され、ログインすることができません。



その場合は、Swim Manager スタートページの「WMI のコンポーネント」をクリックし、以後、画面の指示にしたがって WMI コンポーネントをインストールしてください。なお、インストール終了後はシステムを再起動する必要があります。



8.2 Internet Explorer の設定

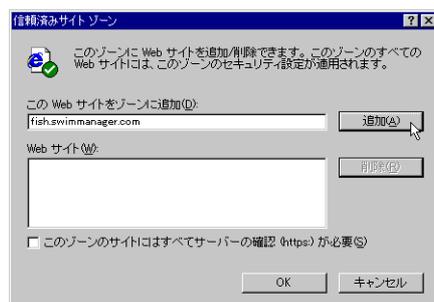
Swim Manager のビューワプログラムは ActiveX で作成されており、初回起動時にサーバからビューワ PC にダウンロードされます。ビューワプログラムをダウンロードして実行するには、Internet Explorer の設定を一部変更する必要があります。Swim Manager をご使用になる前に、以下の手順にしたがって IE の設定をしておいてください。

IE 4.x の場合

1. 「表示」 「インターネットオプション」 「セキュリティ」タブと進み、「ゾーン」リストボックスから「信頼済みサイトゾーン」を選択して、「サイトの追加」ボタンをクリックします。



2. 「このゾーンのサイトにはすべてのサーバの確認 (https) を必要とする」のチェックをはずし、「この Web サイトをゾーンに追加」に Web サーバのホスト名を入力して「追加」をクリックします。



3. 「Web サイト」にホスト名が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



IE 5.x、IE 6 の場合

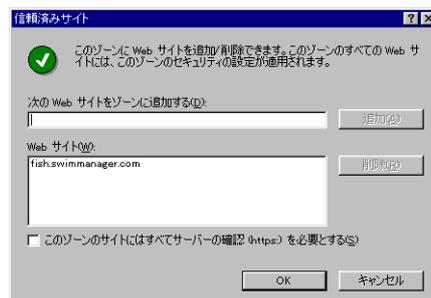
1. 「ツール」 「インターネットオプション」 「セキュリティ」タブと進み、「信頼済みサイト」アイコンを選択して「サイト」ボタンをクリックします。



2. 「このゾーンのサイトにはすべてのサーバの確認 (https) を必要とする」のチェックを外し、「次の Web サイトをゾーンに追加する」に Web サーバのホスト名を入力して「追加」をクリックします。



3. 「Web サイト」にホスト名が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



9 起動方法

9.1 サーバの起動

サーバがインストールされている PC 上で、「スタート」 「プログラム」 「CentreNET Swim Manager」 「Swim Manager (サーバ)」を選択してください。

Note

Windows NT、Windows 2000、XP の場合、サーバを起動するには Administrator 権限が必要です。Administrators グループ所属のユーザーでログオンしてから、Swim Manager サーバを起動してください。

Note

サーバの起動は、「コントロールパネル」 「Swim Manager のシステム設定」 「サーバ状態」タブからも可能です。

Note

Windows からログオフすると、Swim Manager サーバも終了してしまいますのでご注意ください。

9.2 ビューワの起動

ビューワの起動方法は、ローカルからアクセス(サーバと同じPC上でビューワを起動)する場合と、リモートからアクセス(サーバとは異なるPC上でビューワを起動)する場合で手順が異なります。

Note

ビューワの起動は、サーバを起動した後で行ってください。

9.2.1 ローカルでの起動

サーバ PC 上でビューワを起動するには、次の手順にしたがいます。

1. 「スタート」 「プログラム」 「CentreNET Swim Manager」 「Swim Manager (ビューワ)」を選択してください。
2. Internet Explorer が起動し、Swim Manager のスタートページが表示されますので、「ログイン」ボタンをクリックしてください。
3. 「ログイン」ダイアログボックスが表示されたら、「現在のユーザーでログイン」がチェックされていることと、「接続するサーバ」が「ローカル」であることを確認し、「OK」ボタンを押してください。

9.2.2 リモートでの起動

サーバ PC とは異なる PC 上でビューワを起動するには、次の手順にしたがいます。

1. Internet Explorer を起動します。
2. 「アドレス」にサーバマシン上の Swim Manager 仮想ディレクトリの URL (`http://サーバ名/SwimManager`) を入力します。

Note

Web サーバ上で、URL ファイル名省略時のデフォルトドキュメントの設定がされていない場合 (「SwimManager ディレクトリの設定」 を参照) は、URL で明示的に 「Default.htm」 を指定する必要があります (`http://サーバ名/SwimManager/Default.htm`) 。

3. Swim Manager のスタートページが表示されますので、「ログイン」ボタンをクリックしてください。
4. 初回起動時のみ、ビューワプログラムのダウンロードが行われます。

Note

ビューワ PC に WMI コンポーネントがインストールされていない場合、ここで WMI のインストールが必要な旨を告げるダイアログボックスが表示され、ログインすることができません。その場合は、「8.1 WMI コンポーネントのインストール」の手順にしたがって WMI をインストールし、Windows を再起動した後で、もう一度手順 1 から作業を行ってください。

5. 「ログイン」ダイアログボックスが表示されたら、「現在のユーザーでログイン」のチェックを外し、ユーザー名、パスワード、ドメインを入力します。「接続するサーバ」では「リモート」を選択し、テキストボックスに Swim Manager サーバのホスト名を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

10 SwimView のインストール

Swim Manager の CD-ROM には、アライドテレシス製ネットワーク機器を GUI で管理するためのソフトウェア製品である SwimView または SwimView EX (以下 SwimView と表記します) が同梱されています。必要に応じ、ビューワ PC にインストールしてご使用ください。

Note

SwimView のインストールは必須ではありません。

Note

Swim Manager ST には CentreNET SwimView が、Swim Manager EX には CentreNET SwimView EX が付属しています。SwimView と SwimView EX の違いは、SwimView EX がアライドテレシス製品に加えて Extreme Networks 社製品をサポートしている点のみです。

10.1 SwimView のライセンスについて

Swim Manager には、SwimView のライセンスが 1 ライセンス添付されています(シリアル番号 / 認証番号シール入り封筒に認証番号が封入されています)。SwimView は、1 ライセンスにつき 1 台の PC でのみご使用いただけます。1 ライセンスより多くご利用になりたい場合は、別途 SwimView のライセンスを御購入ください。

ライセンスは、SwimView のインストール後に、「ヘルプ」メニューから認証番号を登録することによって有効となります。認証番号の登録方法については、CD-ROM 内の ¥Swimview¥releasenote.txt をご参照ください(「スタート」ボタン 「プログラム」 「CentreNET SwimView」 「リリースノート」と進んでもご覧いただけます)。

10.2 インストール方法

SwimView のインストールは、以下の手順で行います。詳細については、CD-ROM 内の ¥Swimview¥releasenote.txt をご参照ください。

SwimView のインストール

1. ¥Swimview¥instsv14.exe をダブルクリックしてインストーラを起動し、以後指示にしたがってください。これにより、SwimView の実行モジュールがインストールされます。

2. %Swimview%svdoc14.exe をダブルクリックしてインストーラを起動し、以後指示にしたがってください。これにより、SwimView のドキュメントがインストールされます。
3. %Swimview%sv14pl3.exe をダブルクリックしてインストーラを起動し、以後指示にしたがってください。これにより、SwimView の修正差分キットがインストールされます。

SwimView EX のインストール

Note

すでに「CentreNET SwimView」がインストールされている場合は、最初にSwimViewをアンインストールしてから SwimView EX をインストールしてください。また、SwimView EX のインストール後に SwimView をインストールしないでください。

1. %Swimview%inse14p3.exe をダブルクリックしてインストーラを起動し、以後指示にしたがってください。これにより、SwimView EX の実行モジュールがインストールされます。
2. %Swimview%sedo14p3.exe をダブルクリックしてインストーラを起動し、以後指示にしたがってください。これにより、SwimView EX のドキュメントがインストールされます。

10.3 注意事項

SwimView は、Swim Manager のビューワから起動することができますが、そのためには、ビューワ PC 上に SwimView をインストールしておく必要があります。SwimView は Web 対応しておりませんので、Swim Manager サーバと同じ PC にインストールしても、別の PC からはご使用になれませんのでご注意ください。

11 アンインストール

Swim Manager のアンインストールは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」から行ってください。

Note

Swim Manager をアンインストールしても、SwimView はアンインストールされません。SwimView のアンインストールについては、SwimView のリリースノートをご参照ください。

12 再インストール

Swim Manager を再インストールする場合は、「11 アンインストール」(31 ページ) にしたがっていったんアンインストールしたのち、「6 Swim Manager のインストール」(9 ページ) の手順にしたがって再インストールしてください。

Note

Swim Manager Ver.1.2pl0 をアンインストールせずにセットアッププログラム(CD-ROM ドライブが「D:」の場合、D:¥SwimManager¥setup.exe) を実行すると、アンインストーラーが起動してしまいます。再インストール時は、必ず一度アンインストールした上で、再度セットアッププログラムを実行してください。